

令和 5 年度		3 学年		普通 科	
教科名	国語	科目名	国語表現		2 単位
		担当者			
1. 学習目標					
<ul style="list-style-type: none"> 文章の論理的読解、論理的表現を訓練し、思考力を伸ばす。 国語を用いた様々な表現を学ぶ。 SDGsをテーマとして自分の意見を書き、発表する。 					
2. 使用教材等					
・教科書名 高等学校 改訂版 国語表現 (第一学習社)					
・副教材名					
3. 学習項目 (学習内容)					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査
1	4	表現の基礎	文章を書く意味・文章の書き方・わかりやすい表現・表現の工夫・描写の方法・「言葉にする」ことから始めよう・相手理解は聞くことから	10	
	5				
	6	表現の探求	日本語の特徴・方言と共通語・敬語の分類・ニュアンスを変える助詞	10	
	7				
2	8	表現の実践	課題作文・小論文・要約	15	
	9				
	10	表現の実践	考えを発表する・話し合いをする・ディベートをする	15	
	11				
	12				
3	1	表現の探求	日本語のレトリック・古語雑談「やさし」の変遷・時間の見方を変えるとき・皐月・コップの中の論戦	20	
	2				
	3	表現の実践	手紙・紹介文・宣伝文・パンフレット・記録文・レポート・資料編集		
4. 評価の観点					
①関心・意欲・態度		国語を用いて伝えあう力や言語文化に対する関心の向上に努める。			
②話す・聞く・書く 読む能力		的確に話すこと・聞くこと・書くこと・読むことを通じ、思考を深化・発展させる。			
③知識・理解		伝統的な国語を理解し、身につける。			
5. 評価の方法					
・定期考査：		実施しない			
・課 題：		学習内容に応じた課題の期限内提出と完成度			
・授業態度：		毎時間の取り組みと課題提出			
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の実践を実技科目というつもりで取り組もう。 日本語の語彙を広げ、様々な国語表現に挑戦しよう。 聴く、読む、話す、書くことに積極的に取り組み、思考を深めよう。 					